

特許図面 出願前チェックリスト

図面を弁理士や電子出願システムに渡す前の最終確認用です。汎用版のため、各庁の現行規定は必ず公式文書でご確認ください。

用紙と余白

- ☐ 用紙サイズが提出先に合っている（PCT/EPO は A4、USPTO は Letter または A4）。
- ☐ 余白が最低基準を満たす（PCT Rule 11.6(c) / 37 CFR 1.84(g): 上 2.5 ・ 左 2.5 ・ 右 1.5 ・ 下 1.0 cm）。
JPO ・ CNIPA ・ KIPO は各庁の現行様式に従う。
- ☐ 作図領域の周囲に枠線を引いていない。
- ☐ 用紙番号は連番で、図番号とは別系統になっている。

線の品質

- ☐ すべて黒の実線——グレースケール・カラーなし。写真は認められる場合のみ。
- ☐ アンチエイリアスの灰色縁がない（400～800% に拡大して確認）。
- ☐ 約 3 分の 2 に縮小しても線がつぶれない。
- ☐ 陰影線は提出先の慣行に沿った箇所のみ。

図と図番号

- ☐ 請求項の各特徴が少なくとも一つの図で確認できる。
- ☐ 【図1】【図2】...が連番で、図面の簡単な説明と一致している。
- ☐ 断面位置・切断線・矢視が表示され、本文から参照されている。
- ☐ 意匠出願：図の揃え方と破線の使い方が意匠の規定に従っている。

符号

- ☐ 同じ部品には全図で同じ符号を使っている。
- ☐ 図中の符号はすべて明細書にあり、明細書の符号もすべて図にある（双方向で照合）。
- ☐ 引出線が対象部品を明確に指し、紛らわしい交差がない。
- ☐ 縮小後も符号が判読できる。

図中の文字

- ☐ 図中の文字は理解に不可欠なものだけに絞っている。
- ☐ 図中の用語が明細書の用語と完全に一致している。
- ☐ 提出先の言語に合わせている（必要なら翻訳済み）。

最終確認

- ☐ 1 枚を原寸で印刷し、定規で余白を測る。

- ☐ 出力形式が弁理士・電子出願ソフトの要求と合っている。
- ☐ ベクター形式の元データを保管している（補正時に描き直さないため）。